

令和7年度 学童期から思春期の健康づくり・生活習慣病予防研修
カリキュラム

【対象】愛知県内の小・中学校、高等学校、特別支援学校の教諭、養護教諭、栄養教諭、教育委員会職員
愛知県内の保健所・市町村保健行政職員 など

【開催方法】動画共有サービスを使用した動画配信による通信型研修

【配信期間】令和7年12月19日（金）～令和8年1月30日（金）

◆元気な身体と心を育む～健康増進編～（計70分）

テーマ・講師	時間	内容
子どもの運動と多様な支援の実践事例 一般社団法人 BLUE ties Impression 代表理事 川戸 元貴	40分	運動を通じて、子どもたちが持つ多様な可能性を引き出し、子どもたちを心身ともに元気にする具体的な実践事例として、コーディネーショントレーニングや障がい児への運動サポートの手法をご紹介します。
元気なところにいるために あいち健康の森健康科学総合センター 研修啓発課 倉田 和来	30分	不登校の児童生徒数は過去最多となっており、「心の健康」に関する問題が深刻化しています。 子どもの自己肯定感の改善を図り、自分の気持ちと上手に付き合うための具体的なアプローチ方法をお伝えします。

◆今から始める未来の身体づくり～生活習慣病予防編～（計65分）

テーマ・講師	時間	内容
子どものやせ対策 慶応義塾大学保健管理センター 井ノ口 美香子	30分	小児・思春期のやせは、将来の生活習慣病のリスクを高めることもあり、早期対応と予防に向けた支援が重要です。やせによるさまざまな健康障害や、学校での対応策などについてご紹介いただきます。
メディア機器との付き合い方 あいち健康の森健康科学総合センター 研修啓発課 榊原 繁	35分	近年、小中高生の半数がインターネットを過剰に使用し、約5人に1人はインターネット依存が強く疑われる状態であると言われています。 メディアの使い過ぎによる睡眠、姿勢、目などへの影響や、ワークシートを用いた学校での支援方法をお伝えします。